

経済社会学会 第53回全国大会プログラム

2017年9月16日(土)～17日(日) 名古屋学院大学

大会テーマ：「働くことの経済社会学」

いま、労働や仕事のあり方について見つめ直し、あるべき姿を問い直す動きが盛んです。先進諸国では成長経済を基調とした戦後の経済社会が転換し始めた1980年代以降、わが国では1990年代から、そうした議論が活発に展開され、それは今日まで続いています。学問的には経済学、社会学および哲学はもちろん、さまざまな分野で多様なアプローチからそのような問い直しが行われています。また、近年、わが国の書店にはその類いの書物が数多く並び、メディアでも関連した話題がよく取り上げられ、さらにワーク・ライフ・バランスや「働き方改革」のように、そうした見直しは、わが国の重要な政策課題とも深い関わりをもつようになってきました。

そして、こうした論議は、これまで以上により広い意味での「働くこと」という射程で繰り広げられています。その背景には、経済的労働が相対化されるなかで経済社会や生活形成において「働くこと」の意義や位置づけが大きく揺らいでいることがあります。その勢いで「労働の終焉」が叫ばれることがあります。かといって稼働労働の価値を過小に評価したり、それ以外の生活世界の位置を過大に評価することもできません。私たちがなすべきは、働くことの未来を切り拓き、そうしたなかに人間労働の新たな希望への道筋を見いだすことだと考えます。

そこで、今回の全国大会では、「働くことの経済社会学」をテーマとし、広く「働くこと」ならびに労働、仕事、雇用などに関連する諸問題に対して経済社会学的な視点や方法からアプローチしたいと考えております。言うまでもなく、人間労働は経済においてもっとも基本的な活動であり、「働くこと」は社会の基礎となる人間生活にとって必要不可欠な営為です。その意味で、いま「働くこと」をテーマに学問的な議論を展開することは経済社会学の真骨頂であるといってもよいでしょう。多くの会員の方々から報告の申し込みをいただくこと、また多くの方が全国大会に参加されることを期待しております。

大会準備委員長 小林甲一（名古屋学院大学）

会場：名古屋学院大学白鳥学舎

大会事務局：名古屋学院大学現代社会学部・村上研究室 〒456-8612 名古屋市熱田区熱田西町1-25

Tel. 052-678-4089（総合研究所事務室） Fax. 052-682-6812

Tel. 052-678-4078 [ダイヤル] 4508（村上研究室） E-mail: murakami@ngu.ac.jp

- ▷ 受付開始時刻：16日(土) 9:10～／17日(日) 8:45～
- ▷ 大会参加費：3000円（昼食代・懇親会費含まず）▷ 懇親会費：一般 4500円/大学院生 3000円
- ▷ 大会受付にて新年度（2017.09-2018.08年度）の会費納入もお願いしております。

<大会プログラム委員会>

西部：小林甲一（総務理事・名古屋学院大学）・鈴木純（神戸大学）・永合位行（神戸大学）

・村上寿来（開催校・名古屋学院大学）

東部：恩田守雄（総務理事・流通経済大学）・宇佐見義尚（亜細亜大学）・織田輝哉（慶応義塾大学）

経済社会学会第53回全国大会プログラム（於：名古屋学院大学）

| 第1日 9月16日(土) | | | |
|---------------------|--|---|--|
| | A会場(希404) | B会場(希405) | C会場(希406) |
| 第1報告 9:30～10:20 | A1 自由論題報告 互助慣行としての東アジアの小口金融—日本と韓国、中国、台湾との比較— 報告者 恩田守雄(流通経済大) 討論者 大西秀典(尾道大) 座長 石田幸生(亜細亜大) | B1 自由論題報告 ダブルケア(介護と育児の同時進行)を行う者の経験世界の構造と支援課題に関する一考察 報告者 澤田景子(同朋大) 討論者 藤岡秀英(神戸大) 座長 小林甲一(名古屋学院大) | C1 自由論題報告 イノベーションと産業構造変化—イノベーションの波及と普及の諸困難について— 報告者 高橋一正(名古屋大) 討論者 近藤真司(大阪府立大) 座長 秋山太郎(名古屋学院大) |
| 第2報告 10:30～11:20 | A2 自由論題報告 稲盛和夫の「フィロソフィ」と小倉昌男の「経営学」—自然法論におけるリーダーの使命— 報告者 平手賢治(志学館大) 討論者 永合位行(神戸大) 座長 十名直喜(名古屋学院大) | B2 自由論題報告 多胎育児をめぐる「家族」 報告者 越智祐子(名古屋学院大) 討論者 豊山宗洋(大阪商業大) 座長 伊東真理子(同朋大) | C2 自由論題報告 市場における主体の非合理的な選択・行動の可能性をどう説明するか？ 報告者 梅田徹(麗澤大) 討論者 岩澤誠一郎(名古屋商科大) 座長 間々田孝夫(立教大) |
| 第3報告 11:30～12:20 | A3 自由論題報告 他者と共同善—アクィナス正義論の現代的可能性— 報告者 佐々木亘(鹿児島純心女子短大) 討論者 橋本昭一(関西大) 座長 山田秀(熊本大) | B3 自由論題報告 小学6年生の金融自己効力感とそれを規定する諸要因 報告者 松川 誠一(東京学芸大) 討論者 寺島拓幸(文京学院大) 座長 織田輝哉(慶應義塾大) | C3 自由論題報告 プレイスメイキングに基づくコミュニティ政策の評価—松前町を事例として— 報告者 鄭舜玉(函館大谷短大) 討論者 田中人(愛知学泉大) 座長 恩田守雄(流通経済大) |
| 12:20～13:10 | 昼食 | | |
| 第4報告 13:10～14:00 | A4 自由論題報告 世界連邦の構想—日本における議論を中心に— 報告者 新美貴英(早稲田大) 討論者 村上寿来(名古屋学院大) 座長 川西重忠(桜美林大) | B4 自由論題報告 犯罪リスク不安と防犯消費 報告者 野尻洋平(名古屋学院大) 討論者 西岡暁廣(同志社大・院) 座長 松川誠一(東京学芸大) | C4 自由論題報告 Corporate Governance and Donation 報告者 魏政範(慶熙大 大谷校) 討論者 稲葉陽二(日本大) 座長 朴容寛(大阪産業大) |
| 14:10～14:20 | 大会校挨拶(希201) | | |
| 14:30～16:00 | 共通論題報告(希201) 座長:永合位行(神戸大)・大野正英(麗澤大) テーマ:「働くことの経済社会学」 第1報告:渡辺深(上智大)「転職の経済社会学」 第2報告:十名直喜(名古屋学院大)「『働・学・研』融合と生涯発達-産業・地域・人生の文化的創造-」 第3報告:三谷直紀(岡山商科大)「日本の雇用と働き方改革」 | | |
| 16:15～17:30 | 共通論題討論 第1報告:宮田尚子(国際経済労働研究所) 第2報告:山本圭三(摂南大) 第3報告:小林甲一(名古屋学院大) 共通論題一般討論 | | |
| 18:00～ | 懇親会(白鳥物語) | | |

第2日 9月17日(日)

| | A会場(希404) | B会場(希405) | C会場(希406) |
|---------------------|---|--|---|
| 第5報告 9:00～9:50 | A5 準共通論題報告 大学のキャリア教育科目では「働くことの意味」をいかに教えるべきか—一生の自由記述を手がかりとする質的研究アプローチによる検討— 報告者 安藤りか(名古屋学院大) 討論者 宇佐見義尚(板垣興一記念館) 座長 内山隆夫(京都学園大) | B5 自由論題報告 「デモクラティックな正義」の系譜とその構想—N.フレイザーとR.フォレストの理論から— 報告者 石黒太(流通科大) 討論者 小島秀信(同志社大) 座長 古松丈周(旭川大) | C5 自由論題報告 韓国における「社会的経済」の形成と展開—社会的企業育成政策をめぐって— 報告者 後藤健太郎(名古屋学院大・院) 討論者 鈴木純(神戸大) 座長 渡邊幸良(同朋大) |
| 第6報告 10:00～10:50 | A6 準共通論題報告 仕事における共同の理想と現実 報告者 山本圭三(摂南大) 討論者 恩田守雄(流通経済大) 座長 佐々木亘(鹿児島純心女子短大) | B6 自由論題報告 Justificatory ApproachとMotivational Approach—その社会学説史的な位置づけと有効性の評価 報告者 小林佑太(北海道大・院) 討論者 畑山要介(日本学術振興会) 座長 野尻洋平(名古屋学院大) | C6 自由論題報告 サードプレイスの利用を規定する要因—飲食店の利用目的の違いに着目して— 報告者 本柳 亨(立正大) 討論者 礮井純充(大阪府立大・院) 座長 宮垣元(慶應義塾大) |
| 第7報告 11:00～11:50 | A7 準共通論題報告 意味ある仕事の分配論 報告者 橋本努(北海道大) 討論者 石黒太(流通科大) 座長 宇佐見義尚(板垣興一記念館) | B7 自由論題報告 清潔志向と消費様式の安定化—非消費主義に関する実証分析 報告者 鈴木康治(第一工業大) 討論者 生垣琴絵(沖縄国際大) 座長 田中人(愛知学泉大) | C7 自由論題報告 社会関係資本のダークサイドと市民社会—不平等の畷と「中流」の消滅— 報告者 稲葉陽二(日本大) 討論者 上沼正明(早稲田大) 座長 永合位行(神戸大) |
| 11:50～12:40 | 昼食 | | |
| 12:40～13:20 | 総会 | | |
| 第8報告 13:30～14:20 | A8 準共通論題報告 労働者アイヒマン—ハンナ・アーレント『イェルサレムのアイヒマン』再考 報告者 百木漠(立命館大) 討論者 岩熊典乃(大阪府立大・院) 座長 森田雅憲(同志社大) | B8 自由論題報告 すでに起こった未来—自動車産業におけるコ・クリエーション— 報告者 阿部孝太郎(小樽商科大) 討論者 廣瀬毅士(駒沢大) 座長 水原俊博(信州大) | C8 ラウンドテーブル 社会ネットワークと非営利組織に関する調査分析—方法と現状 参加者: 鈴木純(神戸大) 宮垣元(慶応義塾大) 山本圭三(摂南大) 猿渡壮(同志社大・院) 西岡曉廣(同志社大・院) |
| 第9報告 14:30～15:20 | A9 準共通論題報告 経営理念を活かしたグローバル創造経営 報告者 井手芳美(名古屋学院大) 討論者 朴珍怜(元早稲田大・院) 座長 李義昭(追手門院大) | B9 自由論題報告 高齢者介護現場における労働者のストレス状況に関する一考察 報告者 近藤重晴(同朋大・院) 討論者 森周子(高崎経済大) 座長 村上寿来(名古屋学院大) | C9 自由論題報告 ネオリベリズムをめぐる意識とその構想—弱肉強食志向を中心として— 報告者 野々村元希(同志社大・院) 討論者 橋本努(北海道大) 座長 大野正英(麗澤大) |
| 15:20～ | エクスカージョン(白鳥庭園) | | |
| | 会場から徒歩3分程にある東海地方最大級の日本庭園です。報告終了後、入場無料でご案内します。荷物等はお預かりしますので是非ご参加ください。 | | |

共通論題：報告各 30 分、予定討論各 15 分、一般討論 30 分

準共通論題・自由論題：報告 30 分、予定討論 10 分、一般討論 10 分

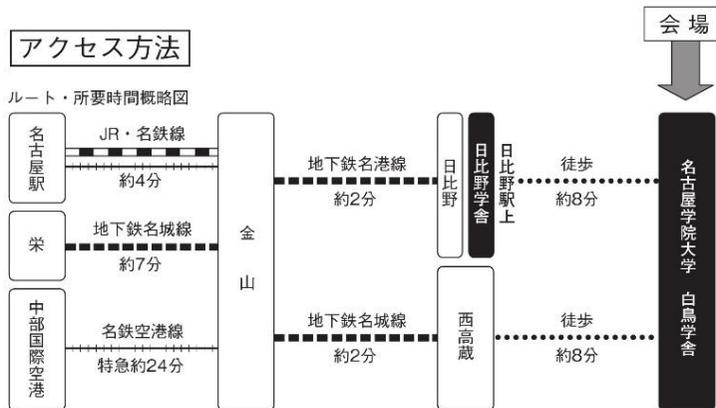
《交通アクセスおよび宿泊について》

会場へは名古屋市営地下鉄・名港線「日比野駅」、名城線「西高蔵駅」下車、徒歩8分です。JR名古屋駅から会場までの所要時間は30分程度です。

宿泊については、金山総合駅周辺や栄地区を中心に名古屋市営地下鉄・名城線沿線が便利ですが、名古屋駅周辺でも会場へのアクセスは問題ありません。各種ホテル予約サイト等でご予約ください。

※ なお、大会期間中は3連休にあたっており、ホテルの予約が一層困難になることが予想されます。お早目のご予約をおすすめ致します。

名古屋学院大学 名古屋キャンパス<白鳥学舎>



周辺図



◆白鳥学舎へのアクセス

- 地下鉄日比野駅から 1番出口を出てヤマナカ前を右へ200mほど歩き、「国際会議場北」交差点を右折し、国際会議場を左手に見ながら500m進むと左手にあります。
- 地下鉄西高蔵駅から 2番出口を出て国際会議場方面へ200mほど歩き、旗屋橋を渡りきったところを左へ堀川沿いを500m歩いて白鳥公園に入ると右手にあります。